認許料之儀本年（八月）第廿
認許規程左之通相定候條此

農商務卿西郷従道

仲買人認許規程

株式金銀貨仲買人ハ營業認
所及取引所ニ於テ慣行ノ手
人ニ認許ヲ與ヘタル時ハ左
ヘシ

第何號

株式仲買人認可之證

族籍
住所
氏名

右某株式取引所營業年限中株式仲買人タルコトヲ認許シ此證狀ヲ下附スルモノ也

年月日

農商務卿氏名 印

許證ヲ下付スル時ハ認許料
農商務省ヘ上納スヘシ○第
買人ヘ認許證ヲ下付スル時
付シ株式取引所ヨリ農商務
前會所及取引所ノ定款ニ定
モノハ其期限中ハ認許證下
項ノ手續ニ從フヘシ○第六
會所及取引所ヲ經由シテ認
但本人執行成リ難キ場合
死亡シタル時 第三營業禁
ニ於テ返納ノ手續ヲ爲スヘ
規則ニ違犯シ認許ノ効ヲ失
ノ規約ニ違ヒ除名ノ處分ヲ
分ヲ受タル時 ○第七項
故ニ因テ紛失シタル時ハ其
下附ヲ請願スヘシ○第八項
ヲ農商務省ニ差出シ[illegible]
之儀米商會所ハ東京八十名

大坂六十名其他ハ一箇所三十名株式取引所ハ東京横濱ハ一箇所七十名大坂神戸ハ一箇所六十名ヲ以定限トシ其餘ハ自今不及認許候條此旨告示候事

明治十六年八月十八日 農商務卿西郷従道

諸達伺公報

○文部省達第拾六號 府 縣

小學校ノ教員ヲ益々改良スルハ目下緊要ノ事ニ有之候條或ハ教員講習所ヲ設ケ又ハ督業訓導ヲ置ク等適宜計畫シ其施設ノ規則方法等取調可伺出此旨相達候事

但既ニ教員講習所督業訓導等ヲ設置セル者ハ其規則方法等此際調申可致事

明治十六年八月十八日 文部卿 福岡孝弟

時事新報

政治社會ノ風説

伊藤參議ガ歸朝シタルニ付テハ大ナリ小ナリ何カ廟堂ニ新事相ヲ呈出スルヿアルベシトハ同參議ガ未ダ歸朝セザル前ヨリ既ニ歸朝後ノ今日ニ至ルマデ我政治社會ノ人ノ偏ネク豫期スル所ニシテ三人相會スレバ其言必ズ政治上ノ未來記ニ及バザルハナシ蓋シ伊藤參議ハ憲法取調御用ヲ以テ歐洲ニ渡航シ一ケ年餘ノ滯在ニ右御用モ調ヒタリトノ噂アリテ本月初旬ニ歸朝シタルナレバ是ヨリシテ何事カ新ニ出テ來ルヿアルベシト豫期スルハ元ト人情ノ常ナルベシ

既ニ豫期スル所アレバ隨テ其出來事ヲ想像シ伊藤君ハ參事院議長ニ任セラル、ナラン今ノ參事院議長山縣君ハ參謀本部長ニ任ゼラル、ナラン否伊藤君ハ内務卿ニ任セラル、ナラン今ノ内務卿山田君ハ洋行スルナラン否伊藤君ハ外務卿ニ任セラル、ナラン今ノ外務卿井上君ハ洋行スルナラン否伊藤君ハ憲法取調ノ新事務ヲ擔任スルノミニテ他ノ省院ノ長官ニ任セラル、ヿハナカルベシ曰ク何ニ曰ク何ニト甲唱ヘ乙和シ巷説區々ニシテ其信僞ヲ辨スベカラズ必竟スルニ自家銘々ノ臆説ヲ逞ウシテ政治社會ノ談柄ニ供スルニ過キザルモノタルベキガ故ニ世人モ亦コレヲ聞テ格別念頭ニ掛クル者モナカルベキ筈ナレ𪜈廟堂ノ事ハ仮令些少ノ變革ト雖𪜈其影響スル所決シテ少小ナラザルヲ以テ苟モ政治ノ思想アラン者ハ未タ其説ノ信僞ヲ糺スニ遑アラズ先ツ其影響如何等ヲ討求シ一場ノ論談ヲ催スニ至ルハ是亦當然ノ事ナルベシ我輩固ヨリ廟議ノ如何ヲ知ラズ又コレヲ洞察スルノ明ナキヲ以テ伊藤君ノ官務ニ關シ區々タル政治社會ノ風説中其孰レカ信ニシテ孰レカ僞ナルヲ判斷スルヿ能ハザルハ無論ナリト雖𪜈單ニ我輩ノ想像ノミヲ以テ諸説ノ其事實ニ適否如何ヲ推尋スレバ亦必ズシモ一切見ル所ナシト云フヲ得ザルナリ蓋シ伊藤君ガ參事院議長ニ任セラルベシト云フノ説ハ同君ガ去年歐行前ノ舊地位タルガ故ニ舊ニ復スルハ[illegible]ノ順序ナリトノ意ヨリ出テタルモノナルベシ此説頗ル穩當ナリト雖𪜈然レ𪜈退テ參事院議長ノ地位ヲ見ルニ内閣員ニ[illegible]ノ坐席トシテ視ルベキ一種重要ノモノニシテ今ノ山縣君ガ此任ニ當リタリトテ更ニ不都合ノ事アルベカラズ況シヤ去年以來同君ガ此任ニ在ルハ伊藤君ガ一時不在中ノ代理タルニアラズシテ嚴然タル其本任ニ當ルモノタルニ於テヲヤ若シ山縣君ニ於テ伊藤君ノ代理タルヿヲ自認シ自カラ先ヅシテ留守役ヲ解クベシト言出サヾル限リハ急ニ其坐ヲ讓ラザルベカラズト云フノ理由ハナカルベシ左スレバ伊藤君ガ參事院議長ニ任セラルベシトノ風説ハ或ハ其實ヲ失ヒシモノナルヤモ測ルベカラザルナリ又伊藤君ガ内務卿ニ任セラルベシトノ風説ノ如キハ其以前君ガ内務ニ在リテ名聲高カリシヲ以テ昔ヲ懷ヒ今ヲ顧ミ内務卿トシテ官民調和ノ大任ニ當ルハ實ニ君ノ得意トスル所ナルベシトノ意ヨリカ或ハ當時兵備擴張ノ折柄山田君ハ兵事上ノ取調御用トシテ洋行スルナラントノ意ヨリ出テタルモノナルベシ果シテ伊藤君ノ昔ヲ懷ヒ今ノ兵備擴張ノ急ヲ見ルトスルモ山田君去テ伊藤君コレニ代ルノ要否ヲ斷スルヿハ頗ル難事ナルベケレバ此説モ亦或ハ其實ヲ失ヒシモノナルヤモ測ルベカラザルナリ又伊藤君ガ外務卿ニ任セラルベシトノ風説ノ如キハ前諸説ニ比スレバ更ニ一層ノ臆説ニ屬スルモノタルカヲ疑ハザルヲ得ズ伊藤君ハ久シク歐洲ニ在テ各國政府ノ内情ニモ通曉シタルナレバ外務卿コソ其適任ナラント云フノ意ヨリカ或ハ井上君ハ自カラ奮ヒテ條約改正ノ大任ニ當リ其事未ダ成ラザルヲ以テ今ノ時ニ當リ外務卿ノ資格ニアラズ公使ノ資格ニアラズ一個日本大臣ノ資格ヲ以テ各國ヲ遍歴シ周旋ニ盡力スル所アランガタメニ洋行スルナラントノ意ヨリカ左ナクバ外交ノ事務ニ熟達スルガタメ遣外公使ハ其適任ナルベシトノ意ヨリ出テタル説ナルベシ今俄ニ井上君去テ伊藤君コレニ代ハルノ要モ勿ルベケレバ此風説モ亦其實ヲ失ヒシモノタルヤモ測ルベカラザルナリ又伊藤君ハ憲法取調ノ事ニノミ專任シ他ノ省院ノ長官タルヿナカルベシトノ風説ニ至テハ無事太平ノ當節柄甚タ穩便適當ノモノナリト評セザルヲ得ズ君ノ歐洲ニ航シタルハ憲法取調等ノタメナリト云ヘリ今日歸朝ニ付テハ最早一切其事務ヲ卸シテ可ナリト云フニテモアルマジク必ズヤ是ヨリシテ更ニ又大ニ取調ブル事モアルナルベク決シテ閑散無職ノ人ニアラザルベシ勿論君ノ才ヲ以テ憲法取調ノ事務ニ兼ルニ他ノ省院ノ事務ヲ以テスルヿ甚ダ容易至極ナルベシト雖𪜈目下兼務ノ必要ナキ限リハ專ラ一事ニ任スルノ優多キニ若カザルナルベシ左スレバ伊藤君ハ憲法取調ヲ專務トスルナラントノ説ハ或ハ其實ヲ失ハザルモノナルヤモ測ルベカラザルナリ此外伊藤君ハ右大臣ニ任セラルヽナラン伊藤君ハ參議長ニ任セラル、ナランナド政治社會ノ風説意外ニ奇ナル者ノ枚擧ニ遑アラザルナリ蓋シ右大臣參議長等ノ風説ノ如キハ伊藤君ガ歸朝ニ際シ恰モ岩倉前右大臣ノ薨去アリシヲ以テ政治社會ノ風説漸ク錯雜ヲ加ヘ遂ニ常人ノ意想外ニ出ルモノ多キヿトナリタル故ナルベシ

以上我輩ガ東京政治社會ニ就テ聞キ得タル目下流行説ノ一二例ナリ畢竟スルニ政治社會ノ風説ナルモノハ當ルモ八卦當ラヌモ亦八卦タルノ性質ヲ免カレザルモノタルガ故ニ其孰レカ信ニシテ孰レカ僞ナリ孰レカ實ニ近ク孰レカ遠キ等ノ評ノ如キハ讀者ノ自カラ擇ブ所ニシテ其果シテ孰レカ當ル八卦ナリシヤハ讀者亦自カラ從來ノ實事ニ徵シテ承知セラルベキノミ

雜報

○贈位勅使 過般長年其他功臣へ贈位ありたるに付鳥取其他三縣令へ去十七日左の通仰渡されたりと

鳥取縣令 山田信道

故從四位下源朝臣長年へ被贈從三位ニ付名和神社へ勅使トシテ參向被仰付候事 但位記ノ儀ハ該神社ヘ納ムヘシ

熊本縣令 富岡敬明

故菊池武時へ被贈從三位ニ付菊池神社へ勅使トシテ參向被仰付候事（但書同上）

福井縣令 石黒務

故正五位下源朝臣義助へ被贈從三位ニ付藤島神社へ以下同文

三重縣令 岩村定高

故結城宗廣へ被贈正四位ニ付墓所へ以下同文（但位記ノ儀ハ結城神社へ納ムヘシ）

○伊藤參議 同參議には歐洲歸朝後去十七日始めて内閣へ出頭二大臣衆參議の方々とも談議したりと依て當日は賜暇中の書記官も參集したりと云

○長與專齋君 同君ハ過る頃豆州熱海温泉改良の爲め出張せし處尚は手殘の分もある由にて昨十九日又々同處へ赴れ一層其改良を計るよし

○函館縣令 本月三日時任函館縣令には自今月俸五十圓增給の旨仰渡されたり

○製茶共進會 片山農商務權少書記官は製茶共進會[illegible]用に付去十七日兵庫縣へ出張を命せられ農商務省[illegible]用掛[illegible]氏は去十七日製茶共進會審査長を命せられたり

○歸京 [illegible]は旅行のため上州前橋地方へ赴きたる[illegible]元老院議官は去十六日歸京、又賜暇中山梨縣に赴きし[illegible]谷修史館監事は同日歸京せり

○三好晉六郎氏 兼ねて英國に留學せし工部大學[illegible]生徒三好晉六郎氏は此の程歸朝し去十七日工部省[illegible]御用掛大學校[illegible]を命せられたり

○[illegible]用掛拜命 去る十七日工部[illegible]は農商務省[illegible]用掛を拜命せり

○[illegible] 東京府より[illegible]